

2022年度 一般選抜入学試験 志願者・受験者・合格者数、実質倍率、合格最低点

Table with columns for faculty/course, admission type, applicant count, gender breakdown, exam results, acceptance rates, and minimum passing scores. Includes departments like Theology, Literature, Social Sciences, Law, Economics, Business, Policy, Cultural Information, Engineering, Life Sciences, Sports Health Science, Psychology, Global Communication, and Global Regional Culture.

※法学部と経済学部は英語に80点の基準点を設けました。
※両日程の全14学部において、選択科目間の得点調整を実施しました。
※理工学部電気工学科、環境システム学科においては、全学部日程において第2志望合格を実施しました。合格者数、合格最低点について、上段は第1志望合格、下段は第2志望合格の
数値を示しています。また、実質倍率は第1志望合格者より算出しています。
※上記データにおける一般選抜入学試験の「受験者数」とは、3科目すべてを受験したものとします。
※神学部、法学部、政策学部、生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部、グローバル・コミュニケーション学部、グローバル地域文化学部では追加合格を実施しましたが、本データに
は追加合格者を含みません。なお、神学部では35名、法学部では28名(政治学科:28名)、政策学部では50名、生命医科学部では75名(医工学科:14名、医生命システム学科:61名)、
スポーツ健康科学部では40名、心理学部では23名、グローバル・コミュニケーション学部では15名(英語コース:15名)、グローバル地域文化学部では13名(ヨーロッパコース:7名、アメリ
カコース:6名)の追加合格がありました。
※一般選抜入学試験において、新型コロナウイルス感染症の罹患等により受験できなかった入学志願者を対象に「特別措置」を実施しました。